

★京都市紫竹児童館のアンケート結果について★

配布人数 222 人、回収人数 160 人（回収率 72%）の方からのご協力をいただき、ありがとうございました。たくさんのご意見をいただくことができました。

小学生の子どもたちからは、「楽しい」、「いろいろなおもちゃや本がある」という回答が多くありました。一方で、「楽しくない」という意見もありました。職員が日常の子どもたちの様子に目を配り、気軽に声をかけられるような存在でいられるよう心がけ、丁寧な関わりを通して、子どもたち一人ひとりの居場所となるような児童館を目指していきたいです。また、中高生へのアンケートは実施できず、中高生の利用の促進も今後の課題として考えてまいります。

学童クラブ児童の保護者の方からは、「楽しそうに行っている」、「安心して利用している」という意見を多くいただきました。しかし、「そうではない」・児童館でのお子さんの様子が「わからない」という回答もあり、前述の子ども一人ひとりの居場所づくりとともに、お子さんが児童館でどのように過ごしているかを丁寧に伝えしていく必要があると感じました。乳幼児の保護者・地域の方からは、「楽しく通っている」、「他の保護者と交流ができ楽しい」という感想をいただいています。

今年度、避難訓練、交通安全・防犯教室を増やしたこともあってか、「避難の方法が分かっている」という回答の割合が増えました。継続して行い、市社協様式「安全確認表」を日々活用して、事故や災害のさらなる予防にも努めていきます。

今後とも、感染予防に努めながら、地域のみなさまの心地良い居場所となりますよう、児童館の特性を生かした事業を地域の方々とともに展開していきたいと思っております。

京都市紫竹児童館
館長 兒玉 洋子

★ 児童館利用者共通アンケートへの御協力のお礼★

本会運営の児童館で実施いたしました標記アンケートに、小学生 2,636 名、中高生 70 名、地域及び利用者 2,282 名、合計 4,988 名と、昨年を上回る多くの皆様にご回答をいただきました。お忙しい中、貴重なご意見を頂戴し誠にありがとうございました。

行事や友だちと遊ぶ楽しさ、我が子が喜んでいる様子、職員との関わりなど、児童館を居場所としてご利用いただいていることが職員への大きな励みとなりました。一方で、施設や活動面、運営面など具体的なご指摘もありました。これからもより安定的な運営を行うため、結果を真摯に受け止め、今後の運営等に活かしていく所存です。

今後も子どもたちや利用者の皆様のご意見を参考に、より一層地域に開かれた児童館を目指して、職員一同力を尽くしてまいります。本会児童館の運営への御理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会